

### 第3回神奈川県ボランティア活動推進基金審査会

平成29年10月25日 13:00~21:00

#### (開会)

- ・本日の流れ（次第の裏面）
  - ・この後、プレゼン審査において確認すべき事項に関する審議
  - ・15時から3階に於いてプレゼン審査、プレゼンに対する質問時間は、1団体あたり12分
  - ・休憩をはさみ、18時30分から来年度負担金事業として協議対象となる事業の選考
  - ・20時から結果発表

#### (審査会長から開会宣言)

- ・平成29年度第3回ボランティア活動推進基金審査会を開会
- ・各委員から率直なご意見をいただき、公平な審査をする必要があるため、神奈川県情報公開条例第25条第1項第1号及び第2号に該当するため、非公開とする。
- ・プレゼンテーション審査については、公開とする。

#### (審議事項 平成30年度協働事業負担金（新規事業）の協議対象事業選考)

#### (事務局から以下について説明)

- ・協働事業負担金 事業分野別提案状況（資料1）
- ・平成30年度実施 協働事業負担金 提案一覧（資料2）
- ・平成30年度 協働事業負担金の予算額（試算）（資料3）
- ・協働事業負担金（新規事業）の事前調査および審査の方針（資料4）
- ・平成30年度 協働事業負担金 幹事評価票（新規・一般）（資料5）
- ・平成30年度 協働事業負担金 幹事評価票（新規・特定課題枠）（資料6）
- ・特定課題枠提案事業への課題提案所属からの意見（資料7）
- ・平成29年度 ボランティア活動推進基金21年間予・協働事業負担金の審査スケジュール（参考）
- ・提案団体と利害関係のある委員はなし。

#### (各提案事業に関するプレゼン前の論点整理及び審議)

- ・各事業の審査に当たり、事務局から資料説明
- ・主担当、副担当の委員を中心に、提案事業に対するプレゼンテーション審査時の確認、質問事項等について検討した。

#### (プレゼンテーション審査)

- ・プレゼンテーション審査を行った。

#### (委員による審議)

- ・平成30年度協働事業負担金（新規）への提案事業に対するプレゼンテーション及び質疑応答の結果を受け、各提案事業について選考の可否及び提案された事業内容の必要性や効果等について審議し、選考した。

- ・審議において、事業の見直しや、調整が必要とされた事業について、事務局から各提案者に審査会の意見を伝達のうえ、さらに調整を進めることとした。
- ・各担当委員の間で、結果発表の際のコメントを作成した。

(結果発表)

- ・最初に、長坂会長より、各事業の選考結果を発表し、各担当委員より次のとおりコメントを発表した。

提案者：特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会  
事業名：生涯現役プロジェクト（アクティブエイジ応援団）

#### 【中島委員】

参加する対象者の理解、たとえば、無償だけではなく有償が必要であるということや、あるいは、参加する具体的なプログラムが示されており、実施の可能性とその成果が具体的に見える提案でした。

移動サービスだけでなく、地域の生活支援サービスの中で、他団体とのネットワークを活用して様々な活動先を確保するという点も評価しました。

初年度は横浜市泉区で活動するとのことですが、県の他地域への展開を自立可能な仕組みで行っていくために、これまでの県内での活動で培ってきたネットワークを活用し、同様の取り組みが横浜から他地域へ展開され継続されていくことを期待します。

提案者：特定非営利活動法人湘南スタイル  
事業名：湘南 100（ワンハンドレッド）プロジェクト

#### 【高橋委員】

人生 100 歳時代の地域でのロールモデルづくりは重要な課題であると認識しています。

その中で働き盛りのミドル世代である 30 代から 50 代をターゲットとし、それを地域でコーディネートしていく事業は非常に重要です。

提案があった「まちのキャリアセンター」は、現在のコワーキングスペースの運営のままでは、対象となるミドル世代は自主的にはやってこないと思われるため、ご提案いただいたように、地域のことをよく理解したキャリアカウンセラーやその他多様な方々とチームを組んで知恵を出し合い、ミドル世代をひきこむようなロールモデルをぜひ作っていただきたいと思います。

また、茅ヶ崎に限定することなく、県内広域にノウハウを広げるやり方を具体的に事業の中に盛り込んでいただきたいと思います。

ミドル世代を引き込みことはなかなか難しく根気がいると思われそうですが、質問の回答にもあったように、ウェブや SNS 以外にも彼らが興味を持つテーマや仕掛け、口コミなどの手段を使ってより良いロールモデルを作っていただくことを期待しています。

一方、企業の働き方改革は、限定的な企業の取り組みの可能性もあるため、丁寧な調査、マッチングをお願いします。

またさらに、他の NPO 等の団体との連携も模索し、より深めていってください。

提案者：特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

事業名：スタート・トゥ・ビーププロジェクトー造血幹細胞移植総合支援プロジェクト事業

【中島委員】

条件付きで協議対象事業として認めます。

これまで協働事業負担金をやってこられて、また、普段から取り組まれているがん患者に対する支援、あるいは日頃の活動が今回の事業に十分活かされたのではないかと思います。

さらに、今日、ご発言のあった方を含めて多くの方が事業に携わることにより、特に若者に対する積極的なアプローチができるのではないかと、その可能性について、事業の可能性を強く感じました。

一方で、提案された事業なのですが、WEBサイトの構築を含めて、その手法あるいは予算計上については精査が必要であると思われる。

神奈川骨髄移植を考える会との事業の棲み分けなども考える必要があるのではないかと思います。

事業内容及び事業費については、県の協働部署並びに神奈川骨髄移植を考える会と協議の上、役割分担を整理した上で、改めてご提案いただければと思います。

提案者：神奈川県骨髄移植を考える会

事業名：県民の健康を守り生きるチャンスを 骨髄ドナー登録推進事業

【中島委員】

条件付きで協議対象事業と認めます。

プレゼンテーションから、これまで神奈川県ドナー登録に関わる事業に携わっており、その現状に対する理解、課題等に対応する事業をしてくださるのではないかと期待ができる提案でした。

しかし、事業内容を精査いたしますと、SNSですとか、特に大学生を活用した骨髄バンクボランティア連盟については、まだ、その効果と実現性に欠けるのではないかという議論がありました。

同じ課題について提案したキャンサーネットジャパンと事業の棲み分けを考える必要があるかと思えます。

事業内容及び事業費については、県の担当部署並びにキャンサーネットジャパンと協議の上、改めてご提案いただければと思います。

提案者：特定非営利活動法人ABCジャパン

事業名：外国につながる子ども・若者と家族の包括的支援

#### 【高橋委員】

重要な課題に対する大事な取り組みであると認識しています。

中でも、分析されているように、厳しい経済状況の保護者の教育サポートや、日本語理解の難しい子どもたちのための登校支援、進路の支援など、子どもたちの未来の可能性を切りひらく大事な活動であると期待しています。

そのうえで、今までのノウハウを生かした、より発展的なフリースクールの運営を期待したいです。

このテーマは、現在教育現場でもなかなか追いつかない、とても解決が難しい課題ですので、当団体に具体的にモデルを作っていただき、広く県域に広めていただきたいと思います。

フリースクールの実施は鶴見区に限らず、県内全域に事業を広げていくことを前提に、事業展開をお願いしたいです。

また、多言語情報やガイダンスなどのより良い情報提供は、協働部署と工夫して発展させていただきたいと思います。

長期的事業の維持のための受益者負担のやり方などに関しては、具体的に計画し、事業継続維持を目指してほしいです。

提案者：特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト

事業名：横浜こどもホスピス設立運営事業

#### 【長坂会長】

余命を告げられた子どもたちがケアを受けられるところまで、やっと日本も来たのだなと思います。

大阪の鶴見にも第一号が出来ていますが、この神奈川の横浜にできるのが第二号になると良いと思っています。

私たち自身もこういったプロジェクトに関われることをとても楽しみにしています。

これからどういうホスピスを作るのかということについて、世界的にみても、子どものホスピスがどういうふうにあるべきかということはまだまだこれから追及していくべき段階にあります。

特定のものをコピーするのではなく、いろいろなケースの良い点を取り寄せて、神奈川の地域に合ったモデルをつくり、世界中からも先駆的なホスピスとして、参考にしてもらえるものをつくるくらいの気持ちを持って、素晴らしいホスピスを作っていただきたいと思います。